

年次報告書作成に係る基本的考え方

1. 年次報告書作成の目的

- (1) 各年度において実施された関係行政機関による調査、事業の内容についてとりまとめ、行政機関において情報共有するとともに、科学委員会に報告し、助言を得る。
- (2) 「知床世界自然遺産地域管理計画」の実施状況の点検を行う。
- (3) 知床世界自然遺産地域の自然環境や社会環境の状況、および関係行政機関等による取組状況を分かりやすくとりまとめ、普及啓発に活用する。
- (4) 一部は英訳し、世界遺産委員会等に対し知床における取組を広くアピールする。

2. 年次報告書の構成

知床世界自然遺産地域の主な動き

知床世界自然遺産地域管理計画の実施状況

知床世界自然遺産地域の現況

- 1. 知床世界自然遺産地域の利用状況
- 2. 知床地域におけるハード事業の実施状況
- 3. 知床地域の保全管理（ソフト事業）の状況
- 4. 各種会議の開催状況

3. 年次報告書を活用して議論すべき事項

遺産地域管理計画の実施状況

- ✓ 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道の事業の状況や施策等の状況。
- ✓ 行政機関内での情報共有や、他機関との連携の状況。

各種調査や事業の結果

- ✓ 自然環境等に係るモニタリング結果の確認と評価。
- ✓ 各機関におけるハード事業、ソフト事業の確認と評価。